

バリデーション審査結果等の概要

平成 22 年 4 月 28 日
気候変動対策認証センター

(1) プロジェクトの概要

プロジェクト名	埼玉県もくねん工房の木質ペレットを活用した化石燃料代替プロジェクト						
申請受理日	2010年1月25日						
プロジェクト代表事業者	(株)クレコ・ラボ						
プロジェクト事業者	さわらびの湯 名栗げんきプラザ						
プロジェクト参加者	協同組合西川地域木質資源活用センター（もくねん工房）						
オフセット・クレジット (J-VER) 取得予定者	(株)クレコ・ラボ						
プロジェクト概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協同組合西川地域木質資源活用センター（もくねん工房）で製造するペレットを燃焼機器（ペレットボイラー）とともに導入し、重油や灯油などの化石燃料を代替する。 ・ 木質ペレット燃料利用による、化石燃料代替効果（CO₂ 削減、エネルギーセキュリティ）を狙っているとともに、従来はほとんど活用されることのなかった樹皮（バーク）の有効活用を目的としている。 						
プロジェクト期間	2004年3月～2014年2月						
クレジット期間	2008年4月1日～2013年3月31日						
想定削減量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO ₂	229	229	229	229	229	1,145
ポジティブリスト	No. E. 002						
方法論	JEAM 002（化石燃料から木質ペレットへのボイラー燃料代替に関する方法論）						

(2) 審査結果

※審査内容におけるアルファベットは申請書、ローマ数字はモニタリングプランにおけるセクションをしている。

審査内容	バリデーションチームの審査結果
プロジェクト情報 (A・B)	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトの申請書におけるプロジェクト情報が重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。
適格性要件 (C)	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行

	<p>った結果、当プロジェクトの申請書における方法論 JEAM002 の適用は実施規則及びポジティブリスト E002 に準拠しており、適格性要件を満たしていることを確認した。現地における実査を踏まえていないため、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
<p>排出量・吸収量算定（Ⅰ・Ⅱ）</p>	<p>モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトのモニタリングプランにおける排出量算定は、方法論 JEAM002 及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。なお、現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
<p>モニタリング計画（Ⅲ～Ⅵ）</p>	<p>モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトのモニタリングプランにおけるモニタリング計画は、方法論 JEAM002 及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲によって、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
<p>その他の論点</p>	<p>申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行い、関連する許認可及び関連法令等の遵守状況、環境影響評価及び環境測定、住民説明会の実施状況を確認した結果、現地における実査を踏まえていないため、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、当プロジェクトの申請書におけるその他事項において重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
<p>認証運営委員会への推奨</p>	<p>埼玉県もくねん工房の木質ペレットを活用した化石燃料代替プロジェクトは、ポジティブリストの適格性基準を満たし、プロジェクト申請書・モニタリングプランに記載された木質バイオマス利用による温室効果ガス排出削減量情報は、オフセット・クレジット（J-VER）制度における温室効果ガス排出削減量の算定及び報告の基準である「化石燃料から木質ペレットへのボイラー燃料代替」方法論 JEAM002 に基づいて作成されており、当制度における重要性基準を満たしていることを確認した。</p> <p>デスクレビュー及びインタビューにおいて判明した範囲において、本プロジェクトが、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認し、本プロジェクトに対しオフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会による登録を行うことを推奨する。</p>

(3) パブリックコメントの概要

該当箇所	ご意見
意見募集期間中にいただいたご意見はなかった。	

(4) 認証運営委員会の結果

第13回オフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会（平成22年4月28日）においてプロジェクト登録が承認された。